

社会福祉 講座 (福祉)

番号	B-01	担当教員	社会福祉 上原 正希 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～50分
授業題目	ソーシャルワーカーのスキル –面接を体験しよう–						
授業内容	ソーシャルワーカーの面接技術についてトータルに説明し、実際に教員と学生とが演じ、また学生同士でのロールプレイも実施し、面接技術を体験します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	面接技術について理解します。			授業形式	講義・演習		
				受講定員	約20～40名		

番号	B-02	担当教員	社会福祉 上原 正希 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～50分
授業題目	教育機関で働く福祉職 –スクールソーシャルワーカーとは?–						
授業内容	福祉職＝病院・施設などと異なる教育現場(学校・教育委員会等)での仕事も理解し、福祉職の魅力を理解してもらう。						
授業のねらい (対象とする生徒)	福祉職＝勤務先は病院・施設などの一部払拭。			授業形式	講義(グループワークを含む)		
				受講定員	特になし		

番号	B-03	担当教員	社会福祉 小早川 俊哉 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	Is that good? –理想と現実の狭間–						
授業内容	福祉サービス事例に対して、これで良いのかを全員に問いかけます。なぜそう思ったのか、を生徒さんに答えてもらいながら、分かりづらいソーシャルワークをイメージできるようになってもらいます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	ソーシャルワークの理解を試みます。事例を考え、ゲーム的設問から、ソーシャルワークには様々な答えがあり、「なぜそう考えたか」の重要性を理解してもらいます。			授業形式	講義・演習		
				受講定員	30名(グループワーク20名)		

番号	B-04	担当教員	社会福祉 櫻井 美帆子 准教授	対象	全ての課程と学年	所要時間	50分
授業題目	生活するってどういうこと?						
授業内容	毎日の暮らしを振り返りながら、生活の幅広さや多様性に気づくとともに、生活を送る上で必要な事についてグループワークで考えます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	生活の構成要素や個性について考えてみます。			授業形式	演習		
				受講定員	20名		

番号	B-05	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 准教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	1時間
授業題目	体験型授業「障害・高齢者」編						
授業内容	次のような内容で行います。また、ご要望にあわせて時間や内容を組み替えることもできます。 ①福祉のしごと ②楽しいこと、つらいことは何? ③福祉現場のレクリエーション ④点字でコミュニケーション(点字体験) ⑤視覚言語(手話体験) ⑥身体的支援(介護の技術) ⑦高校時代にやっておくとよいこと *⑥は、道具不要の技術(ボディメカニクス)です、普通教室で体験できます!						
授業のねらい (対象とする生徒)	障害・高齢者とのコミュニケーションについて学び、この分野におけるコミュニケーションの重要性について学びましょう。			授業形式	講義・実技・演習		
				受講定員	40名程度		

社会福祉 講座 (福祉)

番号	B-06	担当教員	社会福祉 大島 康雄 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～60分
授業題目	こころの健康を支える精神保健福祉士の仕事						
授業内容	うつ病や統合失調症を学び、ストレスとの向き合い方を考えます。精神保健福祉士の仕事を理解します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	メンタルヘルスを理解し、精神保健福祉士について学びます。	授業形式	講義 (グループワークを含む)				
		受講定員	20名				

番号	B-07	担当教員	社会福祉 大島 康雄 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～60分
授業題目	受容「価値観と多様性」						
授業内容	相談に乗るといことは、相手の気持ちを受容することが必要です。価値観の多様性を学びます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	他人の価値観を受容する難しさを学びます。	授業形式	講義 (グループワークを含む)				
		受講定員	20名				

番号	B-08	担当教員	社会福祉 西野 克俊 専任講師	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～60分
授業題目	優しい人間になるためのコミュニケーションを学ぼう！！						
授業内容	人間関係を作るコミュニケーションについてを考え学びます。受容や共感など対人関係構築に必要なスキルを身に付けるため、「相手の気持ちを考える」「やってほしいこと、やられたくないこと」を考えていきます。また、それをグループで話し合い、主観だけではなく客観的にみるための意見を共有します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	講義・グループワークを通じて、コミュニケーションスキルを学びます。	授業形式	講義・演習				
		受講定員	1クラス				

番号	B-09	担当教員	社会福祉 畠山 明子 専任講師	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	ネットワークで支える子ども食堂						
授業内容	①子ども食堂の全国的動向について紹介 ②事例紹介 (旭川おとな食堂)						
授業のねらい (対象とする生徒)	旭川市を中心に子どもたちの居場所づくりをおこなっている団体や生産者等をつなぐ役割を果たす旭川おとな食堂の取り組みから、産官学民型地域づくりについて学びます。	授業形式	講義				
		受講定員	特になし				

番号	B-10	担当教員	社会福祉 畠山 明子 専任講師	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	福祉と農業をつなぐ共生型農福連携						
授業内容	①農福連携の全国的動向について紹介 ②事例紹介 (NPO 法人プロジェクトめむる)						
授業のねらい (対象とする生徒)	農業における障害者雇用、地域食堂運営、高等養護学校の生徒の受け入れ等多様な取り組みを行っている芽室町のNPO法人の事例を紹介し、誰もがやりがいを持って働くことを実現することのできる農福連携の可能性を考えます。	授業形式	講義				
		受講定員	特になし				

社会福祉 講座 (福祉)

番号	B-11	担当教員	社会福祉 畠山 明子 専任講師	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	「楽しくなければ居場所でない」住民が輝く居場所づくりとは？						
授業内容	①北海道の少子高齢化、人口減少等の現状を統計データ等を用いて紹介 ②事例紹介（鷹栖町）						
授業のねらい (対象とする生徒)	少子高齢化・人口減少が進んでいる北海道（鷹栖町）で住民や福祉施設等が協力し、地域の課題を解決している取り組みを紹介します。			授業形式	講義		
				受講定員	特になし		

社会福祉 講座 (保育)

番号	B-12	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 准教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	1時間
授業題目	「保育・福祉のしごと」ガイダンス						
授業内容	介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・幼稚園教諭など福祉分野の資格とその仕事内容、やりがいなどの職業説明です。						
授業のねらい (対象とする生徒)	保育・福祉分野の仕事内容や資格取得について学びましょう。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		

番号	B-13	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 准教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	1時間
授業題目	「保育園・幼稚園って何が違うの？」職業別ガイダンス						
授業内容	「保育園落ちた日本死ね」2016年、1人の母親が強烈な匿名ブログで投げかけた言葉を発端に幼児教育への注目度も高まりました。そこで、この講座では、保育士・幼稚園教諭・子育て支援員などの資格の説明や仕事の内容、やりがいや失敗談などを、わかりやすく説明します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	保育・幼児教育の仕事内容や資格取得について学びましょう。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		

番号	B-14	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 准教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	1時間
授業題目	体験型授業「こども」編						
授業内容	次のような内容で行います。また、ご要望にあわせて時間や内容を組み替えることもできます。 ①保育園と幼稚園の違い ②仕事のやりがい ③保育士の仕事 ④あそび体験（手あそび・歌あそび） ⑤あそび体験（おりがみ） ⑥あそび体験（おもちゃ作り） ⑦高校時代にやっておくとよいことは何？						
授業のねらい (対象とする生徒)	「保育の仕事って、自分にあっているかな？」という気持ちを確かめるきっかけになります。			授業形式	講義・実技・演習		
				受講定員	40名程度		